

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 6 日 (2007.12.6)

【公開番号】特開 2001-194578 (P2001-194578A)
 【公開日】平成 13 年 7 月 19 日 (2001.7.19)
 【出願番号】特願 2000-325853 (P2000-325853)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 7/28 (2006.01)

G 0 3 B 13/36 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/11 N

G 0 3 B 3/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 10 月 23 日 (2007.10.23)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の焦点検出領域を持つ多点自動焦点カメラにおいて、
 各焦点検出領域内における被写体像の移動に関する量を演算する像移動演算手段と、
 上記像移動演算手段の出力に基づいて、被写体が移動しているか否かを判定する動体判定手段と、
 を具備し、

上記動体判定手段における動体判定は、上記像移動演算手段の出力が所定値よりも大きい場合には、被写体が動体であると判定し、上記所定値は、上記複数の焦点検出領域のうちの中央に近いほど小さく設定され、周辺に近い焦点検出領域ほど大きく設定されていることを特徴とする多点自動焦点カメラ。

【請求項 2】

複数の焦点検出領域を持つ多点自動焦点カメラにおいて、
 各焦点検出領域内における被写体像の移動に関する量を演算する像移動演算手段と、
 上記像移動演算手段の出力に基づいて被写体が移動しているか否かを判定する動体判定手段と、

上記動体判定手段における動体判定において動体であると判定された焦点検出領域が複数ある場合には、中央に近い焦点検出領域にウエイトを置いて優先的に選択する第 1 の選択手段と、
 を具備することを特徴とする多点自動焦点カメラ。

【請求項 3】

複数の焦点検出領域を持つ多点自動焦点カメラにおいて、
 各焦点検出領域内における被写体像の移動に関する量を演算する像移動演算手段と、
 上記像移動演算手段の出力に基づいて被写体が移動しているか否かを判定する動体判定手段と、

上記像移動演算手段の出力に基づいて被写体の画面内の移動方向と演算する移動方向演算手段と、

上記動体判定手段において動体であると判定された焦点検出領域が複数ある場合には、上記移動方向演算手段において画面の周辺から中央に向かって移動している被写体が存在

する焦点検出領域にウエイトを置いて優先的に選択する第２の選択手段と、
を具備することを特徴とする多点自動焦点カメラ。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１９】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記目的を達成するために、複数の焦点検出領域を持つ多点自動焦点カメラにおいて、各焦点検出領域内における被写体像の移動に関する量を演算する像移動演算手段と、上記像移動演算手段の出力に基づいて、被写体が移動しているか否かを判定する動体判定手段と、を具備し、上記動体判定手段における動体判定は、上記像移動演算手段の出力が所定値よりも大きい場合には、被写体が動体であると判定し、上記所定値は、上記複数の焦点検出領域のうちの中央に近いほど小さく設定され、周辺に近い焦点検出領域ほど大きく設定されている多点自動焦点カメラを提供する。